

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 7月22日更新

事務事業名	中小企業等活性化推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	6 産業の健康	所属部	産業振興部	課長名 牧野 淳一		
	施策	27 商工業の振興	所属課	商工振興課	担当者名 高岡 英之		
	施策の柱	72 人材確保と生産・販売力の強化	所属班	商工振興班	(内線) 5215		
予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11436	根拠 法令	合志市中小企業等振興基本条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市中小企業等振興基本条例に基づき、中小企業等の経営基盤の強化及び持続的な発展を促進することにより、中小企業等の活性化を推進し、もって活力ある地域社会の実現を図る事業。「合志市中小企業人材育成費補助金」および「合志市中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業」を継続して実施しているほか、平成24年度より「新入社員合同研修会」「大規模展示会出展支援事業補助金」、平成25年度より「住宅リフォーム助成事業」、平成26年度より「優良中小企業表彰制度」を実施しており、地元中小企業の更なる発展・活性化を図る。また、「合志市中小企業等活性化会議」(合志市商工会、大学機関、金融機関、合志市議会、民間企業、行政)を組織し、運営を行っている。なお、平成28・29年度は、平成28年熊本地震の発生に伴い「災害復興商品券事業」を実施していたが、平成30年度に「住宅リフォーム助成事業」を再開した。
【業務の流れ】	「合志市中小企業等活性化会議」において、合志市の中小企業等の実情に応じた支援策の調査・検討を行い、具体的な支援策の施策化に取り組む。また、実施中の施策等の事務処理を行う。(各補助金の申請受付、交付ほか)
【主な予算費目】	報酬、報償費、旅費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	合志市商工会等関係団体からは、長引く世界的な経済不況の影響が、地元中小企業の経営環境にも影響を及ぼしており、個人消費や設備投資の減退、売上げ減少等による資金繰り難など厳しい状況が続いているとの声が強くなってきている。また、平成23年5月に実施した「産業実態調査」の結果によると、後継者育成などの「人材育成支援」を行って欲しいとの意見が多かった。また財政的に厳しい状況の中小企業が多く、「経済的援助」を望む声も多かった。中小企業活性化会議で委員から「新型コロナウイルス対応など企業におけるBCP(業務継続計画)策定に向けた意識付けが必要」との意見があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	合志市中小企業等活性化会議(3回)を開催し、補助制度等について審議を行った。また、平成30年度は熊本地震以降中断していた住宅リフォーム助成事業等の事業を実施し、中小企業振興を図った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 「合志市中小企業等活性化会議」にて、市内中小企業を取り巻く現状を認識し、現行施策の進捗状況や事業効果等を検証し更なる市の活性化に向けて、より実効性のある施策を展開していく。平成30年度は、平成28・29年度に休止していた住宅リフォーム助成事業を再開しており、令和2年度も実施予定である。また、令和2年度から創業補助金及び創業信用保証制度の創設し、起業支援として実施予定である。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 活性化会議開催回数 → イ:	予算の主な増減の理由 令和2年度より創設予定の創業補助金及び創業信用保証制度事業費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内中小企業等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件 ア: 現行の支援策件数 → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	経営基盤の強化及び持続的な発展を促進する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア: 支援策の利用件数 → イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 活力ある地域社会の実現を図るため		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア イ	回	3	3	3	3	3	3	3	3	
② 対象指標	ア イ	件	4	6	6	6	6	6	6	6	
③ 成果指標	ア イ	件	33	156	150	165	150	150	150	150	
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
			一般財源	千円	1,120	7,363	7,800	6,943	10,526	10,550	10,550
		(A) 事業費計	千円	1,120	7,363	7,800	6,943	10,526	10,550	10,550	10,550
		(A)のうち指定経費	千円	100	108	134	93	134	178	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正 規 職 員 従 事 人 数	人	3	4	4	3	4	4	0
		延べ業務時間	時間	480	1,020	720	930	720	720	0	
	(B) 人件費計	千円	1,898	4,020	2,868	3,685	2,868	2,868	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,018	11,383	10,668	10,628	13,394	13,418	10,550	10,550	

事務事業名	中小企業等活性化推進事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 支援策の周知を図ったことにより利用件数の増加につながった。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 中小企業等活性化会議にて現行施策の進捗状況や事業効果等を適宜把握し、より実効性のある施策を展開していく予定である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 人材育成費補助金・出展支援事業補助金・利子補給制度について、市内中小企業に周知を図ることで利用者を増やせるよう取り組む必要がある。また、現行の中小企業支援策の評価を行いつつ、中小企業等活性化会議を活用し、合志市の実情に即した支援策を施策化し、中小企業の活性化を推進して行く。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業、子育て支援、高齢者雇用関係をはじめ各関係部署の施策と関連性があり、綿密に連携を図っている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の予算を計上しているため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限で計上しているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 中小企業が活性化されることにより、納税の促進や市全体の活性化へ繋がるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市、企業、市民で協同して推進する必要がある行政の役割は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

住宅リフォーム助成事業は、商品券として助成する方式のため、地元のリフォーム業者のみならず、商品券取扱店への一定の成果が得られた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						